

オンラインブランド保護サービス

＜オンライン上の知的財産侵害対策サービスを提供＞



オンライン事業

- ✓ 1000のオンラインマーケットプレイス
- ✓ 30の国と地域/40の検索エンジン
- ✓ 3億以上のドメインネーム
- ✓ 30のソーシャルメディア

マーケットプレイスの侵害対策

- 模造品対策
- 著作権侵害
- ロゴ侵害
- 非正規(並行輸入品等)

ウェブサイトの侵害対策

- ドメイン侵害
- サイトコンテンツ侵害
- ✓ 模倣品販売サイトへの不正転送
- ✓ 模倣品販売サイト
- ✓ ドメイン侵害によるアクセス数流出
- ✓ 正規代理店サイトのなりすまし
- ✓ 正規サイトの正規画像・動画無断使用
- ✓ ログ侵害サイト

ソーシャルメディアでの侵害対策

- フェイクアカウント
- 模倣品販売サイトへのリンク転送
- オフィシャル動画・画像の無断転載
- 模倣品の販売
- 著作権侵害
- ロゴ侵害

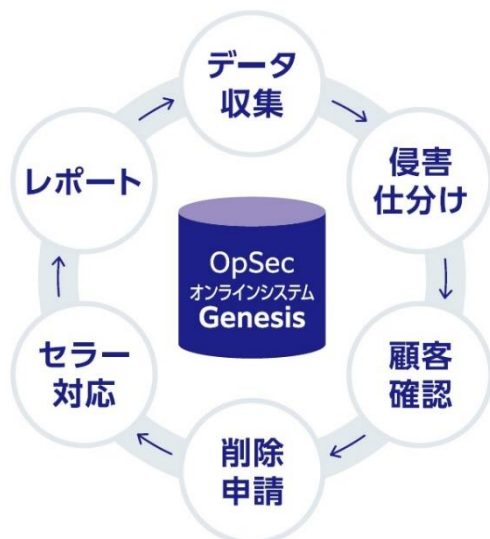
ブランドプロテクション

マーケットプレイス

ウェブサイト

ソーシャルメディア

オンラインテスト購入



オンライン対策のワークフロー

① データ収集

OpSecオンラインシステム(Genesis)を対象地域のマーケットプレイスを毎日情報収集。
※アナリストが個別に収集する場合もあり。
ホワイトリストなどで正規代理店の自動仕分け実施。

② 侵害仕分け

アナリストが侵害品を特定し、タグによる仕分けを毎日実施。仕分けした結果を“チェックレポート”をお客様にご報告。

③ 顧客確認

お客様はGenesisから抽出されたチェックレポートを確認。
削除対象とするかを判断します。

④ 削除申請(エンフォースメント)

お客様に確認頂いた侵害品に対し、各マーケットプレイスへアナリストがGenesisを通じて削除申請を実施。

⑤ セラー対応

削除申請後、侵害セラーからの反論やクレームに対応。Genesisを利用しながら侵害セラーに対応。

⑥ レポート

定期的な削除実績レポートの共有・報告。侵害状況の確認や今後の計画の見直しを実施。

フィッシング対策

- 消費者フィッシングなりすましサイト
- ビジネスメール詐欺
- スピアフィッシング(特定個人・企業を狙った攻撃)

フィッシング対策

フィッシングサイト

サイバーインテリジェンス(ダークウェブ)

- ✓ 業界最先端のテクノロジー
- ✓ グローバルチームによる高い専門性
- ✓ 包括的なフィッシング対策
- ✓ 広範囲にデータ収集し即座に特定
- ✓ 新規ドメイン及びSSLを監視し報告(Early Warning Systems™)
- ✓ フラウドキャスティング(閲覧ブロックサービス)

フィッシング前の未然防止策

- 予防措置のためのテクノロジー
- ・ Early Warning System™ (EWS)
- ・ ウェブサードパーティ

フィッシングアタック後のデータ収集

- OpSec(MarkMonitor)のデータソース
- ・ Honey pots
- ・ SOCによるデータベース解析
- ・ ブランドプロテクションサービス

- パートナーからのデータソース
- ・ 業界団体 (APWG等)
- ・ ISP (インターネットサービスプロバイダー)
- ・ ITセキュリティカンパニー

- 顧客からのデータソース
- ・ 迷惑メールボックスの自動転送

Phish Kit Analysis

- ・ マッチング機能
- ・ インシデント管理
- ・ フィッシングログ管理

レポート

- 24x7 オンラインポータル
- API 接続 (push/pull)

- ユーザー
- ・ インシデントのシャットダウンチケット発行
- ・ レポート/分析

被害の無力化対策

- ・ ブラウザー
- ・ Emailプロバイダー
- ・ ISP (インターネットサービスプロバイダー)
- ・ Security/AntiVirusベンダー

フラウドキャスティング

シャットダウン

- ・ ISP (インターネットサービスプロバイダー)
- ・ ドメインレジストラ (管理会社)
- ・ ドメイン権利者
- ・ 各国のCERT機関等

